

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																												
東北文化学園 専門学校	昭和58年12月27日	佐藤 直由	〒981-8552 宮城県仙台市青葉区国見六丁目45番16号 (電話) 022-233-8163																												
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																												
学校法人 東北文化学園大学	昭和53年3月17日	土屋 滋	〒981-8550 宮城県仙台市青葉区国見六丁目45番1号 (電話) 022-233-3330																												
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																											
教育福祉	教育福祉専門課程	介護福祉科	平成12年文部省告示第十七号	-																											
学科の目的	複雑化・高度化する介護ニーズに対応できる質の高い人材を社会に輩出すべく、専門的な知識と技術と価値観、そして豊かな人間性と優れた個性をもった福祉専門職の育成を行う。																														
認定年月日	平成27年2月17日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必	講義	演習	実習	実験	実技																								
2年	昼間	2,250	825	865	515	0	45																								
	夜間	単位時間																													
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																										
80	21	0	3	16	19																										
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 4段階による評価を定期試験やレポート等により総合的に評価																										
長期休み	■学年始：4月1日～4月3日 ■夏季：7月17日～8月17日 ■冬季：12月25日～1月9日 ■学年末：2月21日～3月31日			卒業・進級条件	(卒業) 専門課程に所定期間在学し、かつ所定授業科目を修得して全課程を修了すること。 (進級) 試験等により教育課程における学年の所定授業科目を修得すること。																										
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 出席不良通知発送、面談			課外活動	■課外活動の種類 清掃活動、献血、卒業制作展 ■サークル活動：有																										
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) 福祉施設(特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等)、病院 ■就職指導内容 教員で編成したキャリア対策委員会と、専任の職員を配置したキャリアサポートセンターが連携して就職指導を行っている。 就職情報システムを導入し、厳格な個人情報管理の下で学生と教職員が場所と時間の制限無く、就職関連の情報を検索・閲覧することができる体制をとっている。 ■卒業生数：9人 ■就職希望者数：5人 ■就職者数：5人 ■就職率：100% ■卒業者に占める就職者の割合：55.6% ■その他 ・進学者数：2人			主な学修成果(資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護福祉士</td> <td>②</td> <td>9</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>レクリエーション・インストラクター</td> <td>①</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>手話技能検定4級</td> <td>③</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>手話技能検定3級</td> <td>③</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>Excel表計算処理技能検定試験</td> <td>③</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 平成29年度卒業生高橋里奈(公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会会長賞) 平成29年度卒業生藪内峻太(公益社団法人日本レクリエーション協会レクリエーション・インストラクター課程認定校優秀学生表彰)			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	介護福祉士	②	9	6	レクリエーション・インストラクター	①	9	9	手話技能検定4級	③	9	9	手話技能検定3級	③	7	7	Excel表計算処理技能検定試験	③	9	9
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																												
介護福祉士	②	9	6																												
レクリエーション・インストラクター	①	9	9																												
手話技能検定4級	③	9	9																												
手話技能検定3級	③	7	7																												
Excel表計算処理技能検定試験	③	9	9																												
中途退学の現状	■中途退学者 2名 平成29年4月1日時点において、在学者21名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者19名(平成30年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 中途退学の背景理由について教員間で情報を共有し、予防に努める。			中退率	9.5%																										

経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有</p> <p>①指定校推薦支援制度（志望する科の入学検定料と入学金全額を免除）、②AO特待生制度（入学後に入学金半額相当分を給付）、③姉妹校入学優遇制度（入学金全額免除）、</p> <p>④兄弟姉妹等入学優遇制度（兄弟姉妹または両親が卒業生の場合、入学金半額免除）、⑤東北文化学園専門学校奨学金制度（奨学金制度選考において、成績及び経済状況を審査し、その結果に応じて年額60万円、36万円、12万円を原則卒業時まで給付、自己都合による退学の場合を除き返還義務なし）、⑥オープンキャンパス等参加者特典制度（入学検定料半額免除）、⑦東日本大震災により被災した者に対する入学金・授業料免除の特別措置制度</p> <p>■専門実践教育訓練給付： 非給付対象</p>
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： 無
当該学科のホームページURL	http://www.tbgu.ac.jp/college/faculty/carework

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1) 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2) 「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

(3) 上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

近年における介護の理念や概念の変化、多様化する介護対象者のニーズに対し、的確な対応ができる人材を育成するため、臨床現場である高齢者施設及び障害者施設等と継続的な連携を図る。連携機関と情報の共有・分析を行い、今、福祉実践の現場で求められるものを把握して、教育課程や授業方法に反映させていく。本校の教育理念として掲げている「実践力になり得る技術の修得と知識の涵養を図り、豊かな人間性を備え、社会に奉仕できる人材」を輩出できるよう、連携機関等から積極的に助言を求め、教育課程の編成や授業方法の改善・工夫を行い、教育水準の維持・向上を目指す。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校には「教務委員会」が設置されており、(1) 教育課程に関する事項、(2) 授業及び試験に関する事項、(3) その他教務に関する事項を審議することを規程に定めている。また、同規程では教育課程に関する事項を審議する場合は「教務委員会」が「教育課程編成委員会」を設置して審議することができることと定めており、教頭を委員長として校長が委嘱する委員を含めて組織編成をすること、審議事項及び教育課程について速やかに校長及び教務委員会に報告することなども規定している。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
中里 仁	NPO法人 全国コミュニティライフサポートセンター 理事 ／社会福祉法人東北福祉会 せんだんの杜 総合施設長	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日 (2年)	①
早坂 理理	宗教法人 莊厳寺 和敬保育園 園長	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日 (2年)	①
大宮 憲二	社会福祉法人大樹 特別養護老人ホームせんじゅ 統括施設長	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日 (2年)	①
大信田 和義	株式会社 ジュー・シー・アイ 代表取締役社長	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日 (2年)	①
阿部 秀樹	東北文化学園専門学校 介護福祉科長	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日 (2年)	
笠間 典美	東北文化学園専門学校 こども未来科長	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日 (2年)	
熊谷 猛	東北文化学園専門学校 教頭	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日 (2年)	
渡辺 英隆	東北文化学園専門学校 教務主事 ／総合福祉学科長／社会福祉科長	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日 (2年)	
長澤 智広	東北文化学園専門学校 教務副主事	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日 (2年)	
山田 春文	東北文化学園専門学校 事務課長	平成30年4月1日～ 平成32年3月31日 (2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1 企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (6～7月頃、11～12月頃)

(平成29年度実績) 第1回 平成29年6月20日 15:00～17:00

第2回 平成29年12月13日 14:30～16:30

(平成30年度予定) 第1回 平成30年7月11日

第2回 平成30年11月21日

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

編成委員より、新入社員の質も異なりことから自ずと新人教育も多様化しているが、基礎となる社会人としてマナーについてHR等を通じ指導していただきたい等の意見より、平成29年度教育課程より「ビジネスマナー実務」を開講。指示の受け方、報告・連絡・相談、ビジネス文書作成、来客対応などを教育内容とし教授している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

近年における介護の理念や概念の変化、多様化する介護対象者のニーズに対し、的確な対応ができる人材を育成するため、臨床現場である高齢者施設及び障害者施設等と継続的な連携を図る。連携機関と情報の共有・分析を行い、今、福祉実践の現場で求められるものを把握して、教育課程や授業方法に反映させていく。

本校の教育理念として掲げている「実践力になり得る技術の修得と知識の涵養を図り、豊かな人間性を備え、社会に奉仕できる人材」を輩出できるよう、連携機関等から積極的に助言を求め、教育課程の編成や授業方法の改善・工夫を行い、教育水準の維持・向上を目指す。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習前指導として、①実習承諾書の取り交わし、②実習開始1か月前を目途に実習生の事前申し送り、③学生自身の施設へ赴いての事前オリエンテーション、以上を踏まえ実習に臨んでいる。

実習中は、①1週間に1回以上の巡回指導（一人約30分以上を目安）、②2週間に1度のペースでのケースカンファレンスの実施、③実習最終日にはそれを総括する反省会の実施している。

また、実習後についても、①最終実習日翌日を登校日としケースカンファレンス資料の完成版の提出、②反省会資料の提出、③お礼状の提出、④施設からの評価、⑤施設評価を含めた全体評価の作成をしている。

*実習要綱を準備しその内容を施設側と共有し、客観的な評価となるよう工夫している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
実習Ⅰ	介護実習の意義の重要性に合わせて、学内で学んだ知識や技術を具体的かつ実践的に理解する。	障害者支援施設杏友苑、特別養護老人ホームかむりの里、国見苑、思行園、八木山翠風苑、せんだんの館、ファミリーオ、せんじゅ、介護老人保健施設せんだんの丘、利府仙台ロイヤルケアセンター
実習Ⅱ	学内で学んだ知識や技術を介護実習の場で活用し個別ケアを理解した上で利用者の方とのコミュニケーションの実践、状況に応じた介護技術の提供、多職種との連携を通じたチームの一員としての介護福祉士の役割を理解する。また、情報収集の中から利用者の方が抱える課題を明確にした上で介護計画を立案し介護過程の展開を理解する。	障害者支援施設杏友苑、特別養護老人ホームかむりの里、国見苑、思行園、八木山翠風苑、せんだんの館、ファミリーオ、せんじゅ、介護老人保健施設せんだんの丘、利府仙台ロイヤルケアセンター
実習Ⅲ	「在宅分野」において、様々な生活の場における利用者の個々のリズムや個性を理解する。	軽費老人ホームケアハウス月見ヶ丘、デイサービス月見ヶ丘、アサヒサンクリーン（株）
実習Ⅳ	介護計画実施後の評価やそれを踏まえた介護計画の修正といった一連の介護過程を理解する。	障害者支援施設杏友苑、特別養護老人ホームかむりの里、国見苑、思行園、八木山翠風苑、せんだんの館、ファミリーオ、せんじゅ、介護老人保健施設せんだんの丘、利府仙台ロイヤルケアセンター
生活支援技術Ⅱ	「生活支援技術Ⅰ」を基に、利用者一人ひとりがその人らしい生活を継続するために必要な生活支援技術の方法を理解し実践できるようにする。	特別養護老人ホーム大石原苑、せんじゅ、せんだんの館

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

本校で実践する教育活動において、教員の資質向上を図ることを目的とした「教員の研修に関する規程」に基づき、計画的かつ組織的に研修を実施又は受講させる。研修には各専攻分野に関する知識・技術・技能等の修得・向上を目的とした「教員研修」と、授業及び指導力の向上を目的とした「養成研修」を設け、その研修によって身に付けた知識・技術・技能等を活かし、本校における教育の発展に貢献するよう努めるものとする。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「平成29年度全国教職員研修会」（連携企業等：公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会）

期間：平成29年11月19日（日）～11月21日（火）対象：介護福祉士養成施設教職員・学校経営者等

内容：これまでの介護福祉教育の振り返りとこれからの介護教育の方向性について。外国人介護福祉士に対しての在留資格創設に伴い、養成校における留学生の受け入れについて。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「第3回教員研修会」（連携企業等：日本学生相談学会）

期間：1月9日（火）

対象：全教員

内容：「学生相談支援について」

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「第25回日本介護福祉教育学会」（連携企業等：公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会）

期間：平成30年8月23日（木）～8月24日（金）対象：介護福祉士養成施設教職員・学校経営者等

内容：来年度より実施されるカリキュラムの改正の意図、作成時の留意点。介護福祉士養成教育で求められる合理的配慮について。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「第2回教員研修会」（連携企業等：青葉区保健福祉センター）

期間：9月11日（火）

対象：全教員

内容：「青年期のメンタルヘルス」

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教職員が行った自己評価に基づき、校長から委嘱された学校関係者評価委員と校長から指名された教職員が、協働して教育活動等を分析・評価し、改善策を検討する。

また、専門的視点及び多角的な側面からのアプローチにより、教職員が行った自己評価について客観性や透明性を高めていく。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか 他
(2) 学校運営	目的等に沿った運営方針が策定されているか 他
(3) 教育活動	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか 他
(4) 学修成果	就職率の向上が図られているか 他
(5) 学生支援	進路・就職に関する支援体制は整備されているか 他
(6) 教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 他
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動は、適正に行われているか 他
(8) 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 他
(9) 法令等の遵守	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 他
(10) 社会貢献・地域貢献	—
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

幅広い意見をいただき、社会ニーズ及び業界動向の把握・分析を行い、教育の質の確保に努める。

指摘を受けた事項は教務委員会等で検討し、各課程及び学科に具体的な改善策の検討を指示する。

指摘を受けた事項の改善については組織的に対応し、各委員へ進捗状況のフィードバックを行う。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
海老主 勝義	愛子整形外科 事務長	平成30年4月1日～平成30年8月31日(5ヶ月)	企業等委員
熊坂 雅之	日本赤十字社 事務部長	平成30年9月1日～平成32年3月31日(1年7ヶ月)	企業等委員
栗原 憲昭	一般社団法人 宮城県建築士事務所協会 会長	平成30年4月1日～平成32年3月31日(2年)	業界団体
郡山 知之	株式会社日本眼科医療センター 代表取締役	平成30年4月1日～平成32年3月31日(2年)	企業等委員
中里 仁	NPO法人 全国コミュニティライフサポートセンター 理事	平成30年4月1日～平成32年3月31日(2年)	企業等委員
立石 浩一	東北文化学園専門学校同窓会 会長	平成30年4月1日～平成32年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ：毎年9月下旬)

<http://www.tbgu.ac.jp/college/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校は、企業・実習施設、関係団体等との連携及び協力の推進に資するため、教育活動、就職状況、学校運営の状況等について積極的な情報の開示に努めるものとする。なお、個人情報の取扱いについては「個人情報保護規程」を定め、学生・保護者へは入学時のオリエンテーション等で説明し、個人情報の漏えい等が無いよう配慮している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要（教育理念、教育目標、学則） 講師紹介（校長名）、交通アクセス（所在地、連絡先） 事業報告書「学校法人の沿革」（沿革） キャンパスカレンダー（諸活動に関する計画） 事業報告書「東日本大震災の対応」「今後の地震等に備えた安全対策等の実施」（学校安全（防災等））
(2) 各学科等の教育	アドミッションポリシー（入学者に関する受入れ方針） 各科教育課程表（カリキュラム）コース紹介（特色、時間割） 取得資格紹介（資格取得）、事業報告書「国家資格取得の状況」（資格取得の実績） 就職実績（主な就職先）
(3) 教職員	講師紹介（教職員）、学園基本情報（教職員数）
(4) キャリア教育・実践的職業教育	事業報告書「就職支援及びキャリア形成支援の充実」（キャリア教育への取組状況） 就職サポート（就職支援等への取組状況）
(5) 様々な教育活動・教育環境	サークル活動（課外活動）
(6) 学生の生活支援	保健室、学生相談室（学生支援への取組状況）
(7) 学生納付金・修学支援	学費（学生納付金） 学費サポート制度（活用できる経済的支援措置の内容等）
(8) 学校の財務	事業報告書、貸借対照表、資金収支計算書、監査報告書
(9) 学校評価	自己評価、学校関係者評価報告書
(10) 国際連携の状況	－
(11) その他	財産目録（学校運営の状況に関するその他の情報）

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ：毎年9月下旬)

<http://www.tbgu.ac.jp/college>

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 介護福祉科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			現代国語表現	国語の基礎的・一般的知識を理解させつつ、文章表現能力を習得させ、小論文作成能力を向上させる。さまざまな文章、文学作品に触れさせ、今後の介護支援に役立てるように、豊かな人間性と教養とを身につけさせる。	1通	60	4	○						○	
○			英語表現	挨拶や自己紹介等英会話の基本や介護領域、介助場面（食事・入浴・レクリエーション・アクティビティ活動等）で使う基本的な英語を理解し、その英語を使い簡単な会話、コミュニケーションができるようになることを目指す。	1前	30	2	○						○	
○			心理学理論と心理的支援	心理学の概要、人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な心理的・身体的特徴及び心理学理論による人間理解とその技法の基礎について理解を深める。そして福祉心理学の観点から、対象者を如何に理解し、その上でどのような援助をするのが望ましいのかを考察する。	1通	60	4	○						○	
○			健康スポーツ実習（レクリエーションワーク含む）	スポーツは、競技スポーツだけでなく余暇活動としても幅広く楽しまれている。そのスポーツをより楽しむため、様々なスポーツを体験し、誰にでもできるようルールを変更したり、道具を改良しながらスポーツの楽しみ方を学習する。また、様々なレクリエーション教材に触れ、説明ができるようになる。	1前	45	1			○				○	

○		介護過程 I	介護過程の意義を理解し、その目的や目標について理解する。介護の場における介護過程の必要性とその知識を身につけ、介護過程の実践に必要な基礎的な知識・技術を身につける。	1 前	30	1				○									○
○		介護過程 II	介護過程の基本的な知識を持ち、利用者の援助に際して適切な視点で関わられるようになる。また、情報収集・アセスメントを理解して実践し、生活支援の課題・ニーズ、目標の設定についての確かな設定ができ、介護計画立案、実施に必要な知識を深め、実践できる技術を身につける。	1 後	60	2				○									○
○		介護過程 III	介護過程の実践的展開を通し、利用者一人ひとりに合わせたよりよいサービスの提供とは何かを考え実践できるようにする。又、演習の中にグループワークを取り入れ、事例を通してどのように介護過程が展開されるのかを把握し、内容を深めていくことができるようにする。	2 通	60	2				○									○
○		介護総合演習 I	授業と実習の連携が円滑に行われるよう、介護福祉士になるための基礎づくりを行い、実習への動機づけを図る。実習 I～IVの体系を理解、目標を設定し、必要な知識や実習生としての心構え・態度の涵養を目的とする。	1 通	60	2				○									○
○		介護総合演習 II	介護福祉士職に求められる資質、技能、知識、自己の課題を正しく把握し、介護実習に必要な総合的対応能力を身につける。また、実習における振り返りを主とし、グループ討議からそれぞれの残された課題を明確化する。	2 通	60	2				○									○
○		実習 I	介護実習の意義の重要性に合わせて、学内で学んだ知識や技術を具体的かつ実践的に理解する。利用者の方との関わりを深めながら、その方が求めている介護を提供することができるよう、理解力、判断力を養う。また、利用者の方個々の生活リズムや個性を理解した上で個別ケアの重要性を理解する。	1 後	90	2				○				○				○	○

○		実習Ⅱ	実習Ⅰに引き続き、学内で学んだ知識や技術を介護実習の場で活用し、個別ケアを理解した上で利用者の方とのコミュニケーションの実践、状況に応じた介護技術の提供、多職種との連携を通じたチームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。また、情報収集の中から利用者の方が抱えている課題を明確にした上で介護計画を立案、作成し、介護過程の展開を理解する。	2 前	180	4				○	○	○	○
○		実習Ⅲ	「在宅介護」の分野において、様々な生活の場における利用者の個々の生活リズムや個性を理解した上で、個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じたチームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。	2 前	45	1				○	○	○	○
○		実習Ⅳ	実習Ⅰ、Ⅱに引き続き、学内で学んだ知識や技術を介護実習の場で活用し、個別ケアを理解した上で利用者とのコミュニケーションの実践、状況に応じた介護技術の提供、多職種や関係機関との連携を通じたチームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。また、情報収集の中からその課題を明確にし、介護計画の立案、作成、実施後の評価や、それを踏まえた介護計画の修正といった一連の介護過程の展開を理解する。	2 後	180	4				○	○	○	○
○		発達と老化の理解	発達の観点から老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識を習得する学習とする。①人間の発達と老化を理解して、高齢者の気持ちを踏まえた介護福祉が実践できるようになる。②車椅子と高齢者の体験を通して介護の技術面だけではなく、援助者としてどのように接すればよいかを知る。③老化と発達の根拠に基づき、利用者の社会参加や自己実現をめざす活動に関しての介護が実践できるようになる。	1 通	60	4	○						○

○		喀痰吸引	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引について、呼吸のしくみとはたらきや人工呼吸器など基礎知識と実施手順・留意点を学ぶ。また手順にそって演習を行い、技術を習得する。	2 前	30	2	○	△						○	
○		経管栄養	高齢者及び障害児・者の経管栄養について消化器系のしくみとはたらきや注入する内容についての知識、実施手順・留意点を学ぶ。また手順にそって演習を行い、技術を習得する。	2 前	30	2	○	△						○	
○		生活・就職指導	-	1 〈 2 通	60	0	○							○	
合計				46	2,250単位時間(90単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
授業科目ごとに、出席時数が指定時数の3分の2以上（介護実習に係る科目については5分の4以上）の履修科目に対し修得の認定を行い、定期試験及び平常時の成績等の総合的評価がC判定以上	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	1 5 週
また、選択必修科目については4単位かつ120時間以上の履修を要件とする。		

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

実習前指導として、①実習承諾書の取り交わし、②実習開始1か月前を目途に実習生の事前申し送り、③学生自身の施